

2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2022年8月9日

上場会社名 株式会社サン・ライフホールディング 上場取引所 東
 コード番号 7040 URL https:sunlife-hd.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 比企 武
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役業務支援本部長 (氏名) 佐野 秀一 (TEL) 0463-22-1233
 四半期報告書提出予定日 2022年8月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	2,960	13.1	176	—	200	321.0	△233	—
2022年3月期第1四半期	2,617	18.5	10	—	47	—	14	—

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 △234百万円(—%) 2022年3月期第1四半期 19百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	△38.19	—
2022年3月期第1四半期	2.38	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	35,209	4,562	13.0
2022年3月期	35,287	4,895	13.9

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 4,561百万円 2022年3月期 4,894百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	16.00	—	16.00	32.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	16.00	—	16.00	32.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	5,430	4.9	30	396.2	50	△21.0	△350	—	△57.16
通期	11,600	4.9	500	41.0	540	18.9	△90	—	△14.69

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2023年3月期1Q	6,820,000株	2022年3月期	6,820,000株
2023年3月期1Q	696,844株	2022年3月期	696,844株
2023年3月期1Q	6,123,156株	2022年3月期1Q	6,123,156株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間のわが国経済は、ウクライナ情勢の影響によるエネルギー価格や原材料価格の上昇、および円相場の急変動により、先行きが不透明な状況となっております。また、新型コロナウイルス感染症についても、新規陽性者数が低い水準に落ち着きつつありましたが、新たな変異株の感染拡大の傾向が顕著となっており、景気の下振れリスクとなっております。主要事業において、ご葬儀のご用命数が堅調に推移したこと、さらには行動制限の緩和によりご宴席や集会の機会が増加したことにより、売上高は前年同四半期比13.1%増の2,960百万円、営業利益は前年同四半期比1,505.4%増の176百万円、経常利益は前年同四半期比321.0%増の200百万円となりました。

また、2022年6月24日開催の第4回定時株主総会において、退任取締役に対し特別功労金360百万円を贈呈する議案が承認され、これを当第1四半期連結累計期間において特別損失として計上したことに伴い、親会社株主に帰属する四半期純損失は233百万円（前年同四半期は14百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益）となりました。

各セグメントの業績を示すと次のとおりであります。

①ホテル事業（ホテル・ブライダル事業）

ホテル事業では、2022年4月より行動制限が緩和され、ご婚礼の施行組数、ご宴会の件数、宿泊の稼働率、ご婚礼の新規予約組数が増加しました。政府が推奨する「感染拡大防止に向けた取組」を徹底し、ご利用者様、スタッフの安全を確保しながら事業運営をさせていただいております。積極的な広告宣伝を行い、業績回復を目指した結果、売上高は前年同四半期比34.6%増の246百万円、営業損失は18百万円（前年同四半期は57百万円の営業損失）となりました。

②式典事業（葬祭・法要事業）

式典事業では、競合環境の激化、新型コロナウイルス感染症の影響による儀式儀礼の小規模化の流れの中、お客様からご用命いただけるよう企業基盤を強化していくことが求められております。

ご葬儀、仏壇仏具、法事法要、埋葬や相続などのアフターフォローのご用命数を増やすため、集客型イベントの開催、広告による認知度向上策、ご相談体制の強化、人材教育を強化してまいりました。施設のご利用価値向上のため2022年6月に平塚斎場（神奈川県平塚市）のご安置室の改装を行いました。引き続き、施設の新規開設のほか既存施設のリニューアルを積極的に行い、ご利用者様の利便性を高めてまいります。

その結果、ご葬儀件数は増加し、売上高は前年同四半期比15.0%増の2,127百万円、営業利益は前年同四半期比38.1%増の464百万円となりました。

③介護事業（介護事業・有料老人ホーム事業）

介護事業では、サービス利用者の増加とサービス品質向上に努めました。デイサービス・ショートステイの施設であるエミーズを中心に、3月に発生した新型コロナウイルス感染拡大に伴う営業休止やサービス件数低下の影響を受けております。施設の入居率、サービス利用件数は回復しつつあるものの、売上高は前年同四半期比2.0%減の469百万円、営業損失は22百万円（前年同四半期は6百万円の営業損失）となりました。

④その他事業（少額短期保険他）

その他の事業では、各種手数料・管理収入、少額短期保険収入やハウスクリーニング事業の増加等があり、売上高は前年同四半期比10.5%増の116百万円、営業利益は前年同四半期比14.8%増の2百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産は、前連結会計年度末に比べ77百万円減少し、35,209百万円となりました。これは、現金及び預金の増加等による流動資産の増加285百万円、のれんの減少等による無形固定資産の減少40百万円、投資有価証券の減少等による投資その他の資産の減少307百万円があったこと等によるものです。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ254百万円増加し、30,646百万円となりました。これは、未払金及びその他流動負債の増加等による流動負債の増加529百万円、前払式特定取引前受金及びその他固定負債の減少等による固定負債の減少274百万円があったことによるものです。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ332百万円減少し、4,562百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純損失233百万円の計上と配当金の支払い97百万円により、利益剰余金が331百万円減少したこと等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、実績及び最近の業績動向等を踏まえ、2022年5月27日の「特別損失の計上及び2023年3月期連結業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました業績予想の数値から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,993,583	9,213,556
売掛金	573,648	602,748
有価証券	235	263
商品	34,374	42,315
原材料及び貯蔵品	60,199	61,280
預け金	551,641	554,801
その他	439,671	463,481
貸倒引当金	△808	△569
流動資産合計	10,652,546	10,937,879
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,651,989	6,570,777
土地	8,309,677	8,309,677
その他(純額)	411,069	476,597
有形固定資産合計	15,372,737	15,357,052
無形固定資産		
のれん	1,163,400	1,123,908
その他	208,079	207,177
無形固定資産合計	1,371,480	1,331,086
投資その他の資産		
投資有価証券	2,633,522	2,332,016
供託金	1,182,465	1,186,965
その他	4,107,333	4,097,555
貸倒引当金	△32,723	△33,043
投資その他の資産合計	7,890,596	7,583,493
固定資産合計	24,634,814	24,271,631
資産合計	35,287,360	35,209,510
負債の部		
流動負債		
買掛金	445,359	485,385
未払金	266,827	809,475
未払法人税等	121,582	43,910
引当金	188,330	109,000
その他	1,083,372	1,187,070
流動負債合計	2,105,471	2,634,841
固定負債		
前払式特定取引前受金	26,559,267	26,492,058
引当金	47,030	43,385
退職給付に係る負債	161,705	155,633
その他	1,518,324	1,320,872
固定負債合計	28,286,327	28,011,948
負債合計	30,391,798	30,646,790

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	761,914	761,914
利益剰余金	4,686,731	4,354,901
自己株式	△685,696	△685,696
株主資本合計	4,862,950	4,531,119
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	31,452	30,435
その他の包括利益累計額合計	31,452	30,435
非支配株主持分	1,159	1,164
純資産合計	4,895,562	4,562,719
負債純資産合計	35,287,360	35,209,510

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)
売上高	2,617,056	2,960,145
売上原価	2,075,447	2,256,273
売上総利益	541,609	703,872
販売費及び一般管理費	530,631	527,633
営業利益	10,978	176,238
営業外収益		
受取利息	3,122	1,924
受取配当金	609	744
前受金月掛中断収入	4,352	6,058
不動産賃貸収入	5,101	5,061
助成金収入	16,286	3,713
その他	11,492	11,884
営業外収益合計	40,964	29,385
営業外費用		
不動産賃貸費用	1,834	1,795
前受金復活損失引当金繰入額	2,018	3,319
その他	489	124
営業外費用合計	4,342	5,240
経常利益	47,600	200,384
特別利益		
固定資産売却益	19,999	-
特別利益合計	19,999	-
特別損失		
固定資産除売却損	166	11,587
特別功労金	-	360,000
特別損失合計	166	371,587
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	67,434	△171,203
法人税、住民税及び事業税	32,120	41,961
法人税等調整額	20,719	20,690
法人税等合計	52,840	62,651
四半期純利益又は四半期純損失(△)	14,594	△233,854
非支配株主に帰属する四半期純利益	4	4
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	14,589	△233,859

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	14,594	△233,854
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,082	△1,016
その他の包括利益合計	5,082	△1,016
四半期包括利益	19,676	△234,871
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	19,672	△234,876
非支配株主に係る四半期包括利益	4	4

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	ホテル事業	式典事業	介護事業	計				
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	182,854	1,849,529	479,407	2,511,791	105,264	2,617,056	—	2,617,056
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	16,159	6,369	183	22,712	7,060	29,772	△29,772	—
計	199,013	1,855,899	479,591	2,534,504	112,325	2,646,829	△29,772	2,617,056
セグメント利益又は 損失(△)	△57,641	336,095	△6,634	271,819	2,585	274,405	△263,427	10,978

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ファイナンシャル・サポート・サービス、少額短期保険業、清掃業他が含まれております。

2 セグメント利益の調整額△263,427千円には、セグメント間取引消去13,056千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△276,483千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	ホテル事業	式典事業	介護事業	計				
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	246,193	2,127,755	469,834	2,843,783	116,362	2,960,145	—	2,960,145
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	20,941	11,442	163	32,547	10,346	42,893	△42,893	—
計	267,134	2,139,197	469,998	2,876,330	126,708	3,003,039	△42,893	2,960,145
セグメント利益又は 損失(△)	△18,348	464,227	△22,357	423,520	2,969	426,490	△250,251	176,238

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ファイナンシャル・サポート・サービス、少額短期保険業、清掃業他が含まれております。

2 セグメント利益の調整額△250,251千円には、セグメント間取引消去13,103千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△263,354千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。